1. 概況

【事業環境】

当中間期における当社グループを取り巻く事業環境は、昨年度に引き続き安定的に推移しております。原油価格の高騰や米国の金利上昇については落ち着きを取り戻し、世界経済への影響も限定的なものと考えられます。国内経済は、好調な企業業績を反映した設備投資の増加や堅調な個人消費に支えられ、堅実に成長しつつあります。

ＩＴ投資については、海外は依然好調を持続しており、国内でも、企業マインドが成長戦略に転じるなかで、積極的な投資が増え始めるとともに、金融商品取引法（日本版企業改革法）などへの対応に向けた投資も増加し始めました。業種別では金融分野を中心に製造・流通分野なども活発化し、一部を除いて地域経済も回復していることにより、徐々に投資が上向きつつあります。

当社グループは、海外ビジネスを強化するため、６月に米州、ＥＭＥＡ（欧州・中近東・アフリカ）、中国、ＡＰＡＣ（アジア・パシフィック）の４地域にそれぞれの権限を有する責任者を置きました。これにより、グローバルマーケットの動向をきめ細かく把握し、迅速に対応するための組織体制をスタートさせ、事業のグローバルな伸張に向けてさらに力を入れて取り組んでまいります。

また、当社グループは、「ＩＴを作る時代」から「ＩＴを使う時代」へのお客様のニーズの変化に対応し、ＩＴアウトソーシングやＢＰＯ（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）、セキュリティサービスなど、運用を起点としたサービスを一層強化・拡充し、お客様にとってのＩＴが生み出す価値をさらに拡大してまいります。

【中間期の概況】

	2006年度 中間期 （2006年4月1日～2006年9月30日）	2005年度 中間期 （2005年4月1日～2005年9月30日）	前年同期比	7月公表比
売上高	億円 23,623	億円 21,923	億円 1,700	億円 123
（前年同期比増減率）	（ 7.8%）	（ ▲ 1.2%）		
営業利益	506	475	30	156
（営業利益率）	（ 2.1%）	（ 2.2%）	（ ▲ 0.1%）	（ 0.6%）
経常利益	376	158	217	226
当期純利益	148	76	71	98

【第２四半期の概況】

	2006年度 第２四半期 （2006年7月1日～2006年9月30日）	2005年度 第２四半期 （2005年7月1日～2005年9月30日）	前年同期比
売上高	億円 12,594	億円 11,659	億円 934
（前年同期比増減率）	（ 8.0%）	（ ▲ 3.8%）	
営業利益	360	327	33
（営業利益率）	（ 2.9%）	（ 2.8%）	（ 0.1%）
経常利益	313	154	159
当期純利益	141	51	90